

皆様へ コロナ感染症共存下の成人心臓血管外科の現在の診療について

沖縄県では2020年2月上旬よりコロナ感染による陽性者が発生してから、現在まで約3か月間県民一丸となって感染症対策を講じてきました。その結果として5月14日に緊急事態宣言の対象県から除外され、5月21日より県内休業要請の解除が行わり、ここにコロナ感染の第一波は収束したものと判断されています。

患者様、ご家族様には同期間における当科診療へのご理解とご協力を、まずは深く感謝いたします。

今後は密集・密接・密閉の3密回避を徹底するなど感染症予防を持続的に行うための「新しい生活様式」が導入され、コロナ感染症がある中での日常生活が開始される事となります。

当院でも今までのコロナ感染症の実績を踏まえ、更なる感染対策の徹底を行う事でコロナ感染症発生下においても安全に通常診療の提供が可能であるとし、医療資源の確保も出来てきた事から予定手術の順次開始を決定し公示しました。

一方で当科受診の患者様は、コロナ感染症における症状増悪因子である種々の疾患を合併した 경우가多く、診療現場において多くの患者様・ご家族様の不安の声を依然として耳にします。

このことは「**コロナ感染症の患者さんがいても、安心して自分の病気の治療が行える病院である**」という当院及び当科の診療実績や信念が十分に伝わっていないものと考えられます。従いまして当科においては現時点では

**予定手術開始は延期し、まずは関係部署と連携の下で当院における感染症対策の啓蒙活動を行い
県民の皆様が不安が解消されるよう努める時期であると判断致しました。**

予定手術の開始までご不便、ご不安をお掛けいたしますが、何卒当院での安全に配慮した最大限の取り組みを見守って頂ければ幸いです。**なお緊急手術においてはこの限りではありませんのでご理解下さい。**

2020.5.26 文責：心臓血管外科 診療科責任者 宗像 宏